

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	Team 和茶・わちゃ
取組	(2) 地域の女性グループの活動支援
構成員数	7人 (うち、女性の人数：1人) (令和4年4月時点)

1 事業実施方針

<p>① 目的</p> <p>荒茶価格低迷等により茶業経営を巡る環境が厳しい中、女性の感性や能力を生かし、新たな茶種の開発、種子島でしか栽培されていない稀少品種を前面に出した販売・流通方法の開拓などに取り組み、女性の能力発揮の機会を増やし、女性の就農や雇用機会の創出を目指す。</p> <p>② 現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・種子島は「日本一早い走り新茶」の産地として、優位性を確保してきたが、近年の荒茶価格低迷等により茶業経営を巡る環境は非常に厳しい状況であり、離農や農家の高齢化による担い手不足等により、茶園の耕作放棄地も増えつつある。</li><li>・茶業経営は農繁期が限定されていることから、農閑期の所得確保に向け、農閑期に製造可能な茶種への取組、新たな販売・流通への取組などが期待されている。</li><li>・現在は、荒茶での市場出荷が主であり、女性の能力発揮の機会が限定されている。</li><li>・そのような中、女性農業委員が中心となり、茶の実から油を絞り、「茶の実オイル」の商品化に取り組んでおり、茶の新たな用途開発や耕作放棄地解消の仕組みづくりとして期待される。</li></ul> <p>※本会会長は、平成29年から農業委員を務めており、この取組の中心メンバー</p> <p>③ 上記を踏まえた実施方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・荒茶生産農家が連携し、新たな茶種への挑戦、種子島でしか栽培されていない稀少品種を前面に出した販売・流通への取組による収益の向上を目指す。</li><li>・消費者に近い場面の販路を開拓する（「現状：荒茶での販売」→「新たな展開：消費者や茶専門店との直接取引＋種子島の茶を飲める場の設置など」）ため、就農を目指す女性と連携し、新たな取組を加速化させる。</li><li>・「茶の実オイル」など、茶の新たな用途開発の取組とも連動し、さらなる付加価値向上や耕作放棄地解消を目指す。</li><li>・それらの取組を通じて、女性が能力を発揮できる機会（消費者目線の商品開発、小売や茶専門店との直接販売による販売・顧客管理、種子島の茶を飲める場の設置など）を創出し、女性の就農や雇用機会の拡大を目指す。</li></ul>
--

(注) 具体的に記載してください。

## 2 女性就農環境改善に向けた実施体制

「Team 和茶・わちゃ」は、西之表市の荒茶生産農家4社7名（うち女性1名）で結成された組織であり、会長1名、副会長1名、会計1名、監査役1名を選出し、事業計画及び収支予算等について総会で決議のうえ運営している。

新たな茶種（かごしま黒茶）への取組は、県・市と連携し、県域の研究会に加入し、県大隅加工技術研究センターが開発した技術に取り組むものである。

新たな販路開拓については、地区茶業協議会の取組と連動し、県内外の茶小売店との直接取引など新たな販売・流通を目指すものである。

また、女性農業委員が中心となり、「茶の実オイル」の商品化に取り組む組織（「種子の実オイル工房」）等とも連携し、さらなる付加価値向上を目指す。

（注）応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の（1）の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者（女性1名以上を含む）の氏名を記載してください。

## 3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

### （1）女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
（実施中の取組） 農業研修生（女性）との交流	1人（令和3年度）	
（今後の取組） 農業研修生（女性）との交流	1人（目標）	

（注）「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

### （2）女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
（今後の取組） （1）農作業体験 農作業体験を通じた就農イメージの確立	（1）年間30日（目標）	
（2）新商品開発への参画 新商品開発への参画により、茶の品種毎の違いや茶種への理解を深める	（2）2回（目標）	
（3）テストマーケティングへの参画 消費者や茶小売店のバイヤーとの交流により、消費者ニーズを把握	（3）2回（目標）	

（注）「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) (1)新商品（かごしま黒茶）開発に向けた試作 (2)販路開拓に向けた商品カタログの作成・発送 (3)女性農業委員が中心となり、「茶の実オイル」の商品化に着手 ※耕作放棄地となった茶園を茶の実収穫ほ場として整備	(1)試作（令和3年度） (2)作成・発送（令和3年度） (3)商品化1品目（令和3年度）	※会長は、平成29年～農業委員を務める。
(今後の取組) (1)新商品開発 （セット商品） (2)かごしま黒茶製造技術研修 (3)かごしま黒茶試作 (4)バイヤーによる販路開拓・商品開発研修 (5)マルシェでのテスト販売・PR	(1)3品（目標） (2)1回（目標） (3)2回（目標） (4)1回（目標） (5)1回（目標）	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容d

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	個々の製品のみで、組織の強みを生かした魅力的な商品がない。
②	かごしま黒茶を商品化したいが、製造技術が不足している。
③	販路開拓を目指しているが、商談の仕方や効果的なPR方法がわからない。

【課題解決のための補助事業（概要）】※課題番号に対応するように記入ください。

①	新商品開発（セット商品）、ロゴデザイン・パッケージデザイン作成
①	マルシェでのテスト販売・PR
②	かごしま黒茶の製造技術研修の開催
②	かごしま黒茶の試作
③	バイヤーによる販路開拓・商品開発研修の開催

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	当事業で開発したセット商品のブラッシュアップを行い、販路開拓に取り組む。
②	かごしま黒茶の製造技術を習得し、商品化に取り組む。
③	バイヤーの意見を参考にして、商品の魅力を伝える技術を習得し、継続的な販路開拓に取り組む。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2022年6月～11月	対象者：グループメンバー7人 農業研修生1人 商品開発（セット商品） ロゴ、パッケージデザイン作成	役務費 54,546円	
①	2022年12月	対象者：グループメンバー3人 農業研修生1人 マルシェでのテスト販売・PR資材の作成	旅費 112,591円 消耗品費 41,140円	
②	2022年9月	対象者：グループメンバー7人、 農業研修生1人 講師1人 かごしま黒茶製造技術研修開催	旅費 153,819円 謝金 30,000円	謝金規定に基づき算出
②	2022年9月～11月	対象者：グループメンバー7人 農業研修生1人 かごしま黒茶試作	消耗品費 57,800円	
③	2022年11月	対象者：グループメンバー7人 農業研修生1人 バイヤー1人 バイヤーによる販路開拓・商品開発研修	謝金 87,419円 謝金 20,000円	謝金規定に基づき算出

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	1人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者 1人、雇用就農者	人、アルバイト・ボランティア等 人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。